

留学生就職促進プログラム 中間評価所見

大学名：群馬大学

○「留学生就職促進プログラム委員会」における所見

1. 全体の進捗状況，取組と就職率向上の見通し

○概ね計画通りの取組である。

地方型大学として，困難な条件の下で取組が進められている。就職者数，就職率は目標を上回っている点や，プログラム参加者から一定の県内就職者を輩出している点は評価できる。

計画を上回る施策もあり，安定して成果を期待できると認められる分野もあるが，事業の進捗が遅れている部分もある。

2. プログラムの内容の進捗状況

○概ね計画通りの取組である。

ビジネス日本語について，学生の日本語レベルなど状況に応じたカリキュラムが用意されている。しかしながら事業開始以降，ビジネス日本語，キャリア教育の実施までに時間を要しており，実際に平成30年度に開講された授業や参加人数の実績が少ない。

インターンシップについて，特定地域の課題解決（例：観光振興）に焦点を当てた実践的プログラムを実施しており，今後は周辺の自治体に拡大予定とされているものの，観光業以外への広がりをもつ内容となっているかは不明である。

3. 実施体制の構築，活動状況

○概ね計画通りの取組である。

外国人観光振興という観点から関係自治体，企業と連携したインターンシップを行うなど，自治体や経済団体との連携事業は進んでいる。一方で，コンソーシアムに参加する他大学の参画や連携が不明確である。

プログラム担当教員等の創意工夫により成果を挙げているが，今後継続的に発展させていくための取組や体制作りを進めることが課題である。また，事業継続について，奨学金（学習奨励費）を前提とする設計であれば，委託期間終了後の持続性が低くなることを考慮する必要がある。

4. 他大学が参考にできる事項等

○地方におけるインバウンド観光関連業界，自治体を巻き込んだインターンシップの事例は他大学の参考になる。